

令和4年度 体育大会 開会の言葉

R4.9.7

心配された天候も回復し、過ごしやすい体育大会日和となりました。

本日、ここに、立山町教育委員会教育長 杉田孝志 様、PTA会長 山本智秋 様をはじめ保護者の皆様にご来場いただき、第76回体育大会を開催できますことを、心から感謝申し上げます。

今年の体育大会は、新型コロナウイルス感染拡大のため、当初の予定を1か月半延期して10月21日に実施しました。当日は、立山の初冠雪を仰ぐ、雲一つない秋晴れでしたが、吹く風が冷たく、震えながら応援していたことを思い出します。しかし、今年は、夏休みが明けて間もない今日、予定通りに開催することができました。

中学校の行事は、どれも生徒同士が話し合いを重ね、試行錯誤を繰り返しながら、時間をかけて作り上げるところに意味があります。体育大会もそうです。1学期後半のリーダー選出に始まり、何度も話し合いアイデアを出し合ったリーダー会議、夏休みも返上して取り組んだリーダー練習会、ランチルームで心を込めて描き上げたマスコット。そして、2学期に入ってから全校生徒が4団に分かれ、リーダーの熱い指導で仕上げてきたパフォーマンス、兄弟学級で交流を深めながら3年生を中心に盛り上げてきたよさこいソーラン。

今日という日を迎えるまでに、1学期から莫大な時間とエネルギーをかけて「体育大会という大きな作品」をみんなで作り上げてきましたのです。今日はその総仕上げ。全校生徒が心を一つに、今しかできない、雄山中学校にしかできない最高の体育大会を完成させましょう！

雄中生650名が本気を出せば、こんなにすごいことができる。その力を、競技や応援、パフォーマンスに思い切り発揮してください。雄中生一人一人の、獅子奮迅の活躍に期待しています。

終わりにになりましたが、大会準備にご協力いただいた新栄建設様、PTA役員と有志の皆様にご心から感謝を申し上げ、開会の挨拶とします。